



Title	エスノグラフィの研究データ管理入門：オープンサイエンス時代のなかで
Author(s)	神崎, 隼人; 森田, 敦郎; 韓, 智仁 他
Citation	
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/104332
rights	This article is licensed under a Creative Commons Attribution-ShareAlike 4.0 International License.
Note	本教材の作成にあたって、綾部真雄先生、小田博志先生、木村周平先生、佐本英規先生、中空萌先生、深山直子先生、村津蘭先生（五十音順）の諸先生方にはヒアリングの機会をいただきました。厚くお礼申し上げます。

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

講義5

本学におけるオープンなエスノグラフィの試み

エスノグラフィの研究データ管理入門:オープンサイエンス時代のなかで

文部科学省

「AI等の活用を推進する研究データエコシステム構築事業」

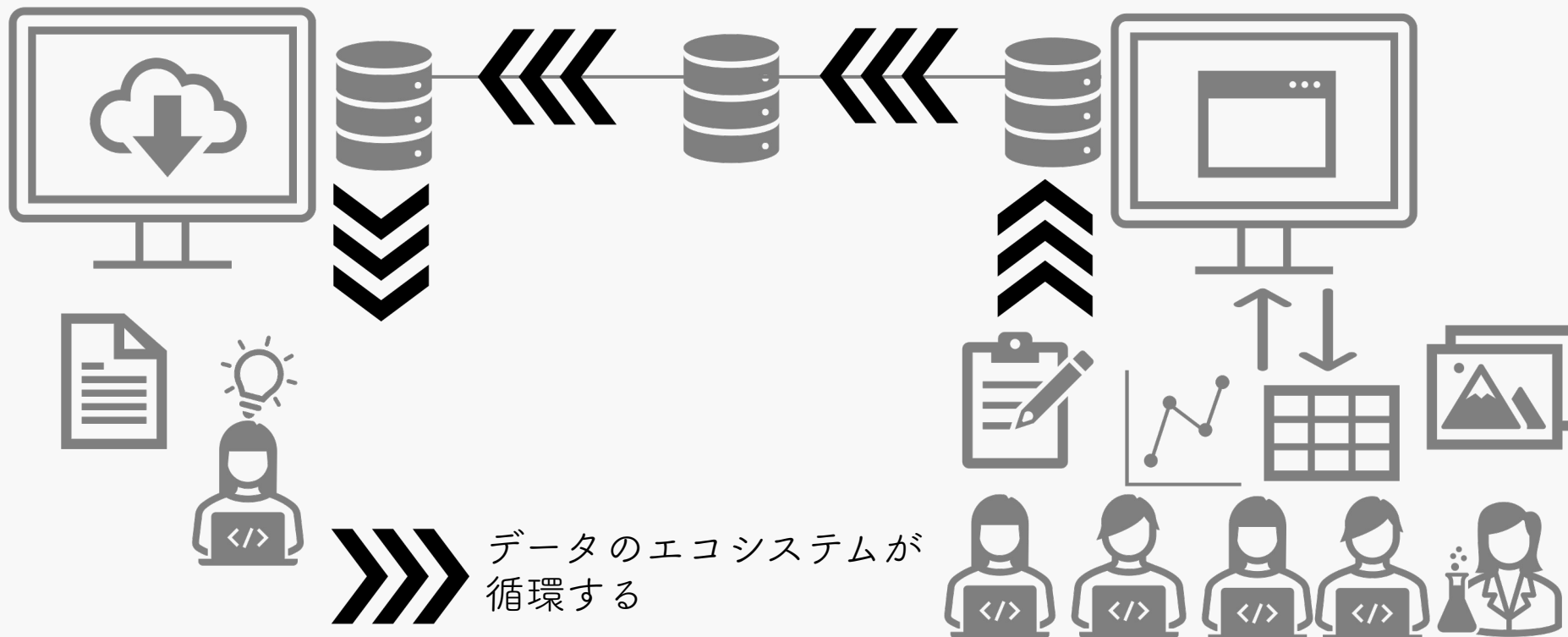
データ検索・公開基盤 (CiNii、JAIRO Cloud)

機関リポジトリOUKA

論文やデータを公開できる、検索できる

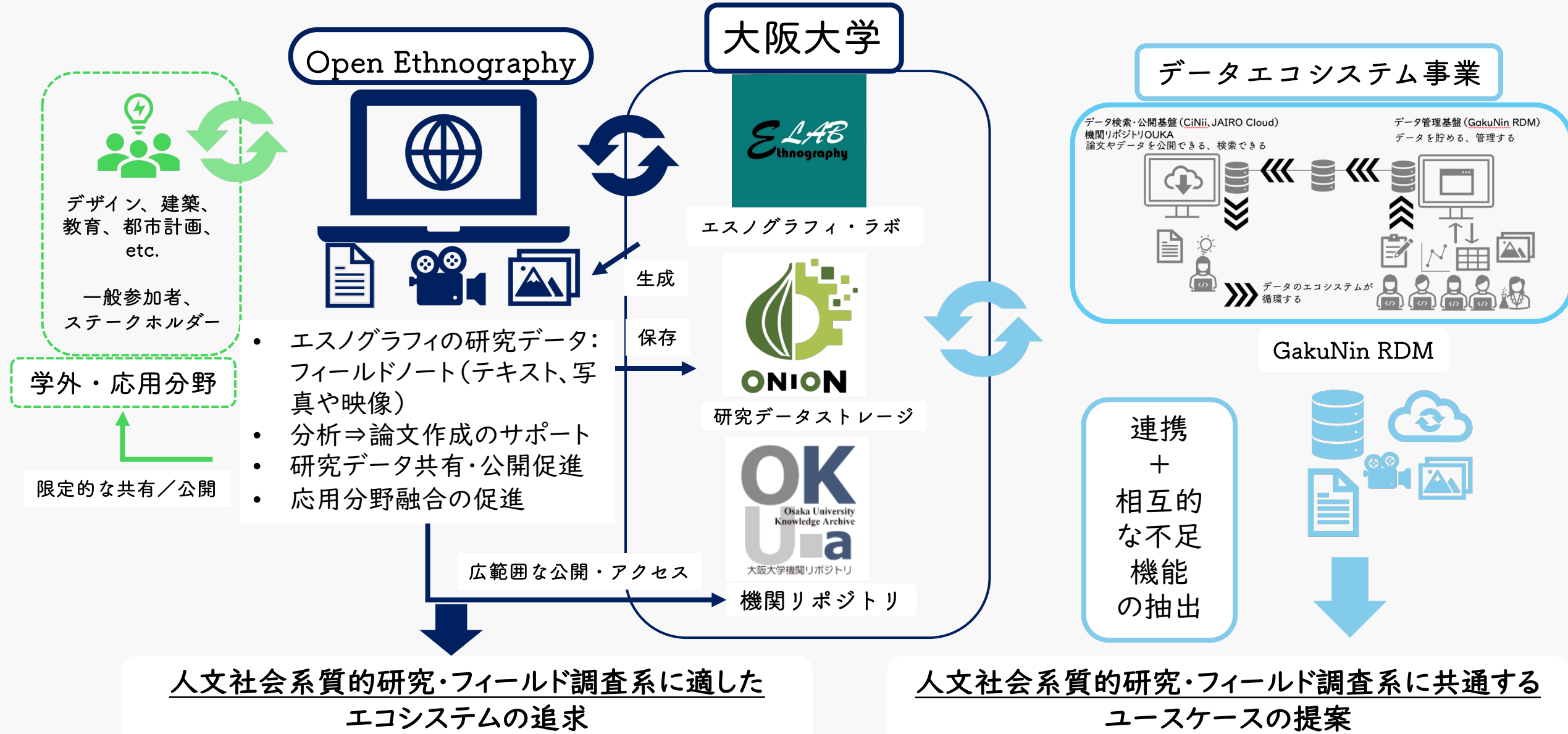
データ管理基盤 (GakuNin RDM)

データを貯める、管理する



オープン・エスノグラフィ:

GakuNin RDMと連携したデータ管理ソフトウェアによる質的研究のコラボレーションとオープンデータ化の研究



プロセスドキュメンテーションの実験

2022


2023

プロセスドキュメンテーション

- エスノグラフィの研究ライフサイクルというプロセス全体を記録に残し、そのドキュメンテーションを公開したり共有したりすること。
- プロセスドキュメンテーションでは、参与観察や聞き取りから生まれるフィールドノート、それに基づく分析メモ、そしてエッセイを、共有・公開。

従来のエスノグラフィ

- 研究ライフサイクルは、主に研究者個人に閉ざされたプロセス。
- フィールドノートなどのデータは非公開・非共有（公開や共有すべきではない性質）。



事例：グリーンウッドワーク

事例：グリーンウッドワーク

概要

開催2022年8月、場所：京都京北エリア

森を散策し、そこで採取した丸太を加工し木彫りのスプーンを作成するワークショップ

データ

- ・参加者8名がそれぞれ書いたフィールドノート
- ・参加者が撮った写真や動画
- ・GoPro手持ちカメラで撮った手元の作業動画
- ・固定カメラで全体を撮ったタイムラプス動画
- ・出来上がった木彫りのスプーン

事例：グリーンウッドワーク

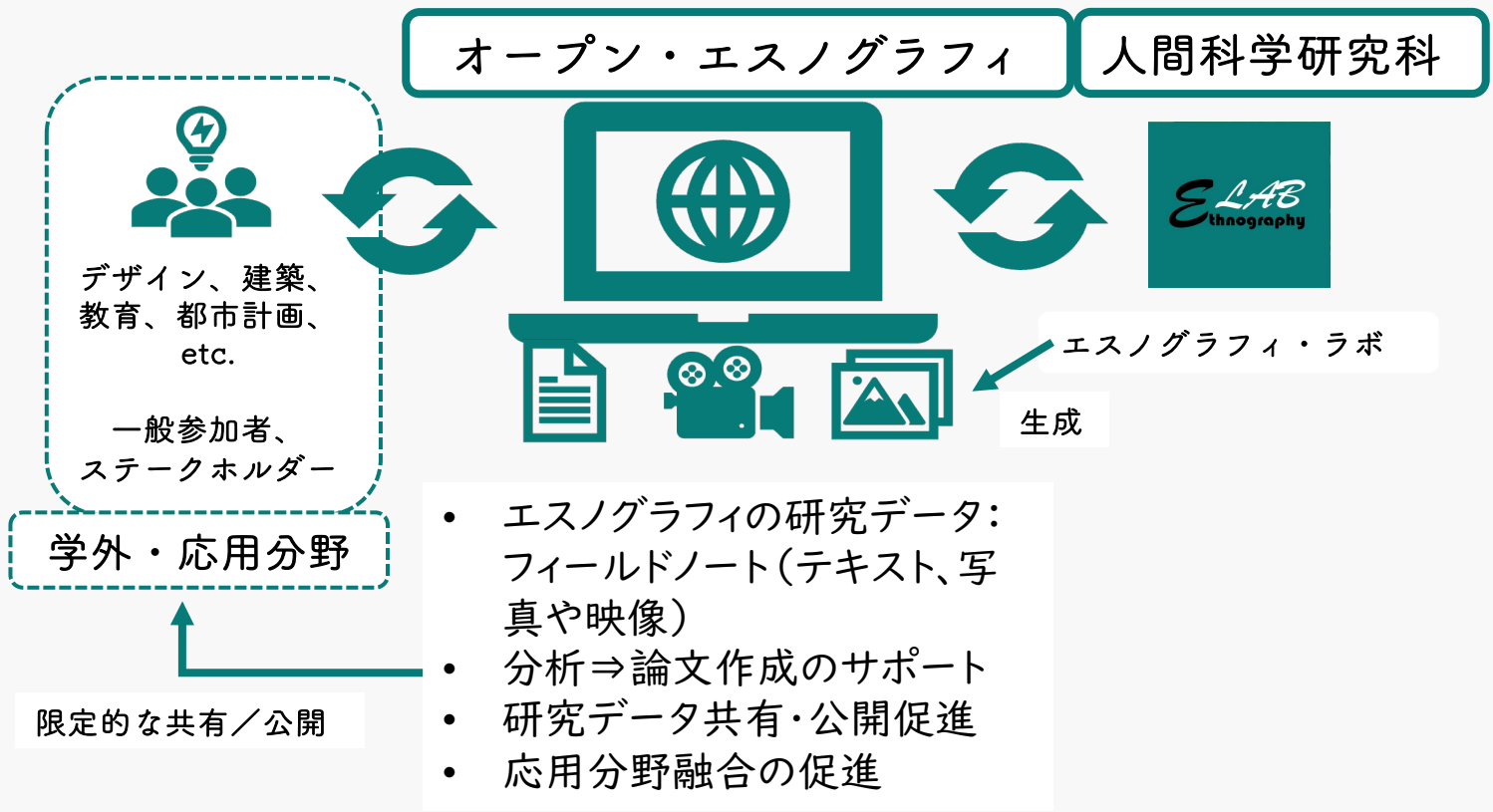
プロセスドキュメンテーションの過程



- 既存のプラットフォームを使ったことでデータが散逸
- ダッシュボード機能の必要性

Open Ethnographyの開発

2023



Open Ethnography

……2023年度～。フィールドデータをオープンに管理・分析するためのツール。
大阪大学 製作、合同会社テンマドシステム開発。

- 複数の人がさまざまな種類のフィールドデータを共有でき、分析を共同的に進められる
- 調査協力者もOpen Ethnographyに参加することによる、さらなるコラボレーション

Open Ethnographyのダッシュボード

Open Ethnography

Critical Making

プロジェクト

メモ

Urban Ecologies Observatory

ダッシュボード

エッセイ

まだエッセイがありません。

[エッセイを書く >](#)

フィールドノート

20240802くん炭製造@京北		2024/08/03
20240802くん炭製造@京北		2024/08/06
20240413床はり@Bridge Studio		2024/08/20
20240910実測		2024/09/10
20240910実測		2024/09/10
20240910 Bridge Studio 実測		2024/09/11
20240910実測		2024/09/11
20240910 実測		2024/09/17
20250201 温熱センサー設置のための…		2025/02/02

[フィールドノートを書く >](#)

ローデータ

20240802くん炭製造 写真		2024/08/03
The City of Shades by Tomas Criado		2024/08/06
9/10-11 Bridge Studio 実測		2024/09/22
Newsletter 01 Bridge Studio 実測記録		2024/09/22
Newsletter 02 Bridge Studio エコロ…		2024/09/22
20240919 エコロジーウォーク		2024/09/22
20240919 エコロジーウォーク		2024/09/22
20240919 エコロジーウォーク		2024/09/22
図1 (20250201)		2025/02/02
図2 (20250201)		2025/02/02

[ローデータを登録する >](#)

分析メモ

都市エコロジー観測所 (コンセプト…		2024/07/17
------------------------------------	--	------------

[メモを書く >](#)

A close-up photograph of a person's hands drawing architectural floor plans on a sheet of graph paper. The person is using a black pen to draw lines and dimensions. The drawing shows several rectangular rooms and corridors with various measurements and labels. The graph paper is placed on a wooden surface. The overall scene suggests a professional or academic setting where architectural or design work is being done.

Open Ethnographyの活用例： Bridge Studio 実測実習

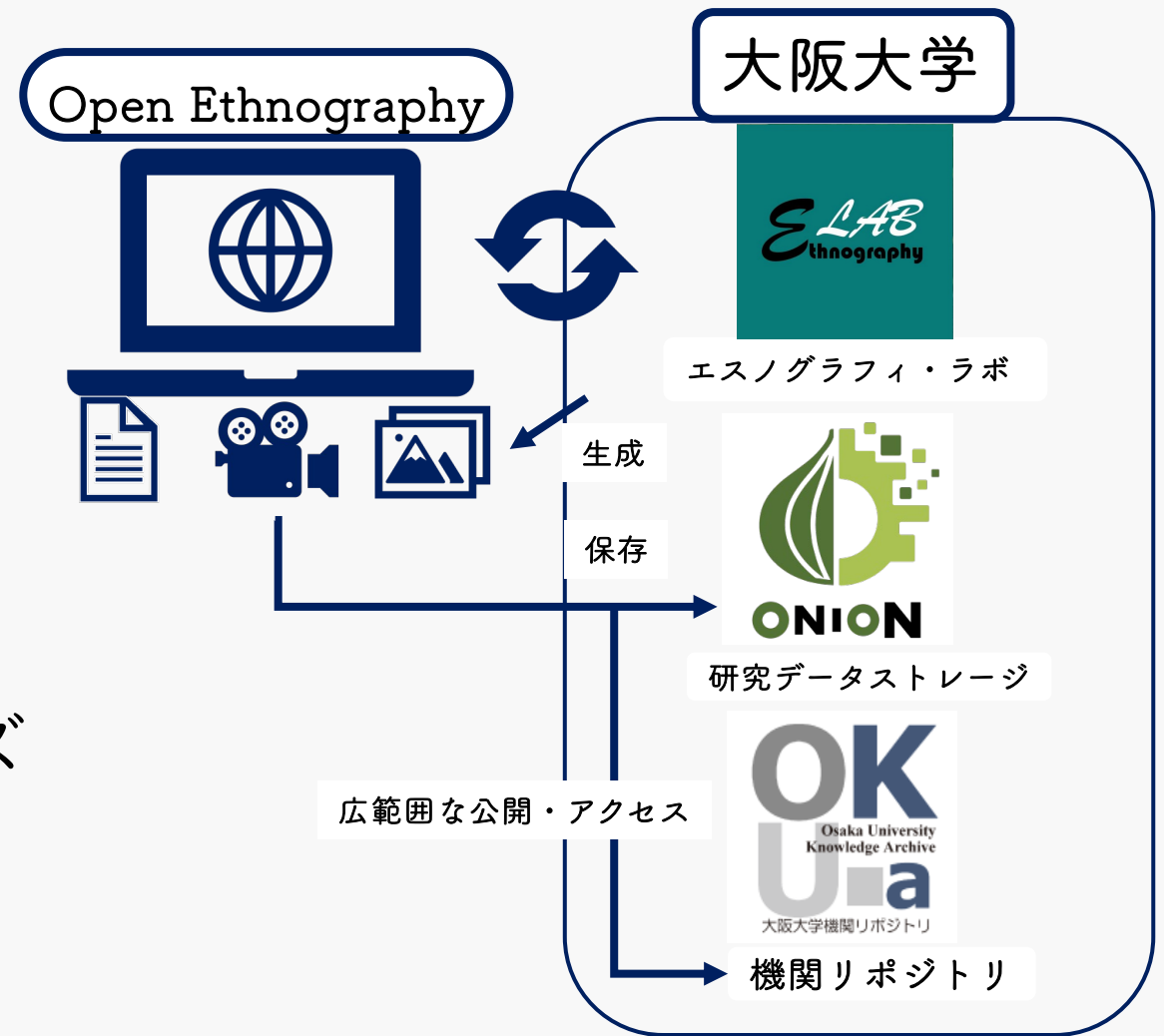
Open Ethnographyの活用例： Bridge Studio 実測実習



- 京都市左京区浄土寺。元小児科医院の洋館を改装したシェアスタジオ
- 能作文徳先生（建築家、東京科学大学准教授）の指導のもと、大阪大学、東京科学大学、京都工芸繊維大学などの学生、教員、Bridge Studio研究パートナー、デザイナーなど多様な参加者。
- 建物の測量を行い、多様な関係者の中でフィールドノーツ、実測図の作成 ⇒ Open Ethnographyにアップロード

OUKA上で研究データを公開

- 公開時のメタデータ等についての確認。
- 部局（人科）の成果物として
- 著者の情報について相談、ファイルサイズの微調整等のやり取り
- CC BY付与、DOI付与
- エスノグラフィの新たな形式の研究データとしてオープン化



OfUE Newsletter: 03, 2025.04.01

エネルギー・ウォーク

蹴上変電所からBridge Studioまで歩きながら街のインフラをマッピングするワークショップ「エネルギー・ウォーク」を実施しました。関西電力の地図では高圧電線しか公開されていないため、一般市民が利用する低圧電線等がどのように配置されているかを理解するために、浄土寺エリアのエネルギー・インフラをマッピングしてみました。初回ということもあり、試行錯誤しながら知識を共有し合いました。



(写真: Emile St-Pierre)

都市エコロジー観測所とは

都市エコロジー観測所は、市民が主体となり都市環境を観測・可視化するDIY型の観測所です。都市は私たちにとって身近な環境ですが、私たちは都市での暮らしと環境や気候の関係をほとんど知りません。しかし、都市での生活はエネルギー消費、廃棄物などを通して環境に大きな負荷をかけています。また、都市内の植生(緑)や河川は周囲の気温を下げたり、雨水を吸収するなど、アスファルトに覆われた都市の過酷な環境を和らげる働きをしています。都市エコロジー観測所は、Bridge Studioの傍を流れる白川流域のまとまりに注目して、都市の中での水の流れ、植生、太陽光、気候の相互関係を可視化することを目指しています。と同時に、都市を都市たらしめている様々なインフラストラクチャー(電力系統、物流システム、上下水道など)の働きとその環境負荷を明らかにもしていきます。

参加者同士
ミールさんの身体を攻撃してくる。
作業開始早々、エミールさんと虫除けの何かを探そうと話した。
リビングから蚊取り線香を持ってきて、キッチンに置いていたマッチを使って火をつけると、私の好きな蚊取り線香の匂いが玄関に充滿していった。
少しすると、心なしか蚊が寄り付かなくなっており、心の平穏が保たれていった。
この場所に来たときになかった豊かな自然と付き合っていくことの難しさを体感した。

